

# TA報告(0) 実証会計学

4/19(Fri) @106演習室  
京都大学大学院 経済学研究科  
博士後期課程 1回生  
渡邊 誠士

## 本日の報告内容

- 特に何も無し。

# というのも...

- 誰とは言いませんが、藤井ゼミにSmall Talkを復活させるという余計なことをしてくれたので、どの程度TA報告の時間があるのかわかりません。
- 誰とは言いませんが、藤井ゼミにSmall Talkを復活させるという余計なことをしてくれたので、いつも通りテキストの本日報告分の内容から何らかの報告をしようと思いましたが、今日やるネタが思いつきませんでした。
- 誰とは言いませんが、藤井ゼミにSmall Talkを復活させるという余計なことをしてくれたので、いわゆるネタ切れです。
- 誰とは言いませんが、藤井ゼミにSmall Talkを復活させるという余計なことをしてくれたので、そもそもTAが報告する時間は無いかもしれません。

# というわけで

- 次回以降時間があるならば次のようなTA報告にしようかな？というひとり言です。
- 藤井先生が数年前に書かれて、塩漬けになっている会計学における実証研究の手引きとなるテキストを解説していきたいと思います。
  - 実証研究とはどんなものか？ということが体系的によくまとめられており、後期の研究には役に立つと思われます。
  - その一方、事前に読んできてもらうという負担をお掛けすることになります。
- 負担が厳しい、あるいはそもそも誰とは言いませんが、藤井ゼミにSmall Talkを復活させるという余計なことをしてくれたので、時間がないという場合であれば、有志が集まって自主ゼミのような形でも構いません。



# では、

- まず、誰とは言いませんが、藤井ゼミにSmall Talkを復活させるという余計なことをしてくれましたが、時間はあるのでしょうか？



来週から少しずつ解説していきたい  
と思います。

次週は第1章1.1～1.2.5(P.11～17)  
を解説します。



有志がいれば自主ゼミのような形で  
勉強しませんか？

- ・実施日時の決定
- ・実施方法の決定

テキストの入手方法

藤井先生の個人ウェブサイトより

トップ→1-(2)学部演習→実証分析テキスト(PDF)

パスワードは「yokoyama」です。